

平成28年度一橋大学節電計画

1. 節電目標

平成28年度の電気使用量は、平成27年度実績の1%減を目標とする。

2. 目標を達成するための取組

(1) 照明設備

- ① 廊下やホール等は、業務上支障が無い限り電灯の間引きを行い、調光により照度を下げる。
- ② スタンド照明が使用できる部屋は、電灯の間引きなどを行う。
- ③ 日中は、業務に支障のない範囲で消灯する。
- ④ 窓際や人のいない部分は、消灯する。
- ⑤ 空室時や休息時は、消灯する。
- ⑥ 蛍光灯等を清掃し、照度の確保に努める。

(2) 冷暖房設備

- ① 冷暖房設備を使用する場合には、夏季は室温 28℃、冬季は室温 20℃を徹底する。
- ② 春季(4月1日～6月30日)、秋季(10月1日～11月30日)は、原則冷暖房設備の使用を停止。
- ③ 使用していない部屋の空調設備は、停止する。
- ④ フィルターを清掃し、空調設備の効率運転に努める。

(3) その他

- ① 使用していない電気機器は、コンセントを抜くかブレーカーをオフにする。
- ② 同一のフロアに同種の電気機器が複数台ある場合は、可能な限り台数を減らして使用する。
- ③ 省電力機能を有する電気機器は、省エネモードに設定する。
- ④ 冷蔵庫は、設定温度を見直す。使用頻度の少ないものは、コンセントを抜く。
- ⑤ トイレの暖房便座、温水洗浄便座は、夏季は停止し、冬季は省エネモードに設定する。
- ⑥ エレベーターは、「3UP, 3DOWN」に心掛けて、原則使用を控える。
- ⑦ 定時退庁や計画的な休暇取得を促進する。
- ⑧ クールビズ(5～10月)、ウォームビズ(11月～3月)を励行する。
- ⑨ 教職員に対し、光熱利用状況をHWPで公表し、節電を啓発する。
- ⑩ 学生に対し、使用電力量をHP等で公表し、節電を啓発する。
- ⑪ 大学構内で電力を使用する外部団体等に対しても、本学の取組に協力するよう要請する。
- ⑫ 夏季休業期間中、講義棟のエレベーターを停止する。

(4) 新たな取組 (案)

- ① 上記取組の徹底を図るため、年複数回の節電パトロールを実施する。
- ② 冬季及び春季休業期間中、講義棟のエレベーターを停止する。

(5) 節電のための LED 照明導入にかかる実績と予定

- ① **【実績】**(26年度) 図書館時計台棟、別館階段教室、(27年度) 図書本館1階、東1号館便所
- ② **【予定】**(28年度) 図書本館地階2階3階、小平体育館、東2号館便所